

買い物には マイバッグ持参!

～マイバッグ運動推進中～

毎月10日は

岡山県統一
ノーレジ袋デー
(マイバッグ
持参推進日)



©岡山県「ももっち・うらっち」

県では、家庭ごみを少しでも減らすため、スーパーやドラッグストア、ホームセンターなどの店舗、消費者・環境団体や市町村と協力して、毎月10日を「岡山県統一ノーレジ袋デー」と定め、買い物の際にレジ袋をもらわない「マイバッグ持参」の呼びかけを行っています。お買い物の際には、マイバッグを持参してレジ袋を受け取らないようにしましょう。



マイバッグは持ち歩いて、
いつでも使えるように!!

マイバッグは、カバンや車の中に入れて持ち歩き、いつでもどこでも使えるようにしておきましょう!



万引きと疑われないように
マイバッグは折りたたんだまま
お買い物を!

マイバッグは、折りたたんだままお買い物をしましょう!



商品はレジまで
お店備え付けのカゴに!

商品は、「お店のカゴ」に入れて、レジまで持って行きましょう!
精算後に、再び商品を買う場合も、必ず「お店のカゴ」を使いましょう!



マイバッグはレジを
通ってから使いましょう!

マイバッグは、レジ袋の代わりです。
レジを通してからマイバッグを使いましょう!



利用したお店のカゴは
必ず決められた場所へ
返しましょう!

お店のカゴは、必ずお店に返却しましょう!

なぜレジ袋を減らさなければならないのでしょうか？

レジ袋は、お店で買った商品を自宅などに運ぶ比較的短い時間使うために、大量に製造され捨てられています。

買い物にマイバッグを持参して、「レジ袋を受け取ることを断る」という、自分の意思でできること、誰にでも簡単にできることを実践することで、レジ袋を受け取ることなく削減することができます。

レジ袋の削減は、環境保全・環境への負荷の低減に役立ちます。



家庭ごみの削減

レジ袋の多くは、最後には家庭ごみとして焼却処分されます。レジ袋を削減することで、処分しなければならないごみの量を減らすことができます。



地球温暖化の防止

レジ袋はプラスチックでできているため、燃やすと二酸化炭素が排出されます。ごみとして焼却処分されるレジ袋を削減することで、地球温暖化を防止することになります。



天然資源（石油）の保護

レジ袋は原油（ナフサ）を精製して作ります。レジ袋の使用量を減らすことで、限りある石油資源を節約し、より有効に活用することになります。



自然環境の保護

レジ袋はプラスチックでできているため、放置すると分解されず自然界に残存してしまいます。野生動物（鯨やイルカなど）が誤飲して死亡した例も報告されています。



環境にやさしいエコ・ライフスタイルへ（環境に対する意識の改革）

「マイバッグを持参して、レジ袋を断る」行動は、環境への意識を変えるきっかけとなります。日常生活の中で、生ごみは水分を絞ってから出す、紙類は資源化物として分別する、トレーやペットボトルはきちんと洗ってリサイクルすることなど、これまでの自分のライフスタイルを見直して、環境にやさしいエコ・ライフスタイルへと変革する「きっかけ」となります。

○レジ袋は、生ごみ入れやゴミ箱の内袋などに使うのに便利だから、...
レジ袋に代えて、商品を包装していたポリ袋・ビニール袋などを再利用してはどうでしょうか。
○いつもマイバッグを持ち歩くことはできないから、...
できるだけ、マイバッグをカバンや自動車の中に入れておく、以前受け取ったレジ袋を（ハンカチのように）ポケットに入れておいてはどうでしょうか。

レジ袋は日常生活に定着しています。すぐにまったく使わないようにすることは難しいかもしれませんが、でも、レジ袋を通じて、環境のことを少し考えてみませんか。



**1年間に1人あたり約300枚も使われているレジ袋。
環境を守るために、岡山県に暮らすみんなが、
マイバッグで買い物をして、レジ袋を断ったら...**

- 削減枚数 576百万枚（576,000,000枚）／年
- 削減量 約4,000トン
- 削減できる二酸化炭素(CO₂)の排出量 約18,000トン

これは、一般家庭の約3,300世帯が1年間に排出する二酸化炭素の量に相当します。

産業廃棄物処理税活用事業

岡山県では、産業廃棄物の処分量に応じて、事業者課税し、廃棄物の抑制やリサイクルの推進に活用しています。